

# 橋本かずみ 2024年10月1日発行 令和6年10月号 後援会 news

豊かさ、安心、信頼を  
誰もが実感できる熱海へ。



## 《橋本かずみプロフィール》

- 1964年10月20日生まれ（56歳） ■熱海市清水町5番17号
- 静岡県立熱海高等学校卒業 ■株式会社東海プランニング代表取締役
- 2002年9月熱海市議会議員初当選（現在4期目）
- 2010年10月静岡県議会議員初当選（2期）
- 2015年6月衆議院議員秘書 ■2020年6月熱海市議会副議長～

## 議員5人合同で議長に

## ICT化推進の申し入れ実施

## ◎全国で約7割の市議会がペーパーレス化推進



9月18日 熱海市議会9月定例会本会議2日目終了後、議議長応接室におきまして、熱海市議会川口健議長に対して、議員5人（橋本一実、金森和道副議長、新野陽平議員、高井一幸議員、山田景照議員）で〈仮称〉議会ICT化推進協議会の設置について（申入れ）を行いました。

社会全体におけるDX化の進展及び新型コロナウイルス感染症対応で直面した課題等を背景として、現在、地方議会においてもICT技術等を活用した効率的で迅速な議会運営が求められている状況です。

全国市議会議長会が実施した「市議会の活動に関する実感開査（令和5年1月1日～同年12月31日）」では、全国の約7割の市議会が、全議員を対象としてタブレット端末を導入しているとの結果となっています。

現在、熱海市議会ではICT技術の活用に関する具体的な議論は行われていません。本市議会においても、市当局側のICT技術活用やDX化の推進状況を踏まえながら、議案審査に必要な関係資料のペーパーレス化やICT機器を活用した調査環境の充実など、議会の運営効率化、機能強化に向けた取組みを早急に進める必要があると考えます。

このことから、本市議会のICT化に向けた具体的な調査や研究を行うための組織を設置することを求めました。

1. 申入れ事項（仮称）「議会ICT化推進協議会」の設置を求める

# 9月市議会本会議質問

## ◎水道・温泉料金等の隔月徴収について（令和7年4月から）

【質問】この条例改正は、水道事業及び温泉事業の健全な経営の確保のため、料金等の徴収回数を見直す内容です。そこで、この条例改正で事務負担の軽減は見込めるものの市民にはどのようなメリット・デメリットがあるのか伺い、毎月徴収を望む個人・事業者もいると思うが、市が工夫をして金融機関への納付は隔月でも、市民や事業者については選択制にして負担軽減はできないものか？

【答弁】使用者のメリットとしては水道料金等の納付書が送付されてから、納付するまでの期限がこれまでは、2週間程でしたが、6週間まで延び、納期限に余裕ができ、資金計画がしやすくなった事と、公営企業各会計の経費を削減することにより、将来の料金改定率を少なからず抑制する効果があります。

もう一つの質問の納付方法の選択制につきましては、料金システムの2元管理や業務の煩雑化により、かえって経費増大やヒューマンエラーに繋がりますので、選択制は避けたほうが良いと考えています。

## ◎伊豆山岸谷2号線の進捗状況について

【質問】現在の岸谷2号線の進捗状況は、どうなっていますか。予定通り10月より仮の開通が可能でしょうか。周辺の方々にどのように周知していくか教えて。

【答弁】議員ご質問の岸谷2号線の進捗状況についてですが、現在の工事の状況は、道路の路盤工・表層工を施工しているところで、その後、既存道路の岸谷本線と接続するため、仮設スロープを設置し、10月1日に開通予定です。

また、開通に向け工事と並行して警察協議

を進めており、開通後の交通動線については、発災前と同様に岸谷2号線を一方通行で岸谷バス停方面へ通り抜けることができる形となります。

次に開通に向けた地域の方々への周知は、9月中旬までには、伊豆山の岸谷町内会・仲道町内会・浜町内会の3町内会に町内回覧を行い、その他にも報道への発表、ホームページへの掲載などを実施します。これまでの周知方法に加え、新たに旧警戒区域内に2か所設置いたしました情報掲示板にも掲示し情報発信に努めてまいりたいと考えております。

更に、交通規制の周知のため、工事看板等によるお知らせの他、一定期間、交通整理人を、岸谷バス停付近に1名・旧岸谷クラブ付近に1名の計2名を配置します。なお、岸谷2号線の仮開通後、今年度新たに上流部の伊豆山神社線との取付道路及び、新幹線上流部の暗渠区間に工事着手する予定となっています。現在、復興事業として、河川・道路事業、消防第4分団詰所、コミュニティー防災センター、公園整備を進めており、令和8年度の完了を目指し、着実に事業を進めていきます。

